

実録!

しっかり見直せば一生で約650万円も違ってくる

保険料ダイエット大作戦

いよいよ「保険料ダイエット」の実践編。3家族が「わが家の保険証書」を持参し、ファイナンシャルプランナー・宮越氏に診断&見直しをしてもらった。その結果、各家族とも見直し↓乗換えで保険料の大幅ダウンに成功した!

保 険 額	[定期保険特約の保険期間中]	災害死亡・高度障害のとき	53,000,000円	1	災害発生後からの経過等の場合、保険料が変わることがあります。
		非災害死亡・高度障害のとき	50,000,000円		
	[定期保険特約の保険期間満了の日の翌日から]	死亡・高度障害のとき	2,000,000円		
***特定疾病保障定期特約の保険期間中に約款記載の特定疾病に罹患し、所定の状態になったとき 5,000,000円 - 特定疾病保険金が支払われたとき以後の死亡保険額は、特定疾病保障定期特約の保険金額を除いた金額となります。					
保 険 料	月 払	14,840円	[契約の日] 平成11年 4月 1日	[契約年齢]	27歳
	払込期月	毎月 保険料口座振替特約付 平成28年の契約当日以降 2,620円	[保険期間]	終身	
* 契約時の前納 *** 回		***** 0円	[保険料払込期間]	65歳払込	2
* 一時払保険料 (頭金)		***** 0円	[保険料払込期間満了の日の翌日]	平成19年 4月 1日	
* 契約時の払込保険料合計		14,840円	[社員配当金支払方法]	利息をつけて積立	
* 転換価格合計		216,391円	[被転換契約の保険証券記号・番号]		
* 転換部分の一時払保険料合計		57,281円			
健康状態の告知について 告知事項の全項目について「なし」の告知をいただきました。					
告知にもれがあったり相違している場合は速返用封書で折返しお知らせください。					
主 約 約	主契約【被保険者本人】	() は保険期間です。	(以下余白)		
	特 約【被保険者本人】	() は保険期間です。			
* 定期保険特約 (15年)		43,000,000円	3		
* うち転換部分		8,800,000円			
* 特定疾病保障定期特約 (15年)		5,000,000円			
* 傷害特約 (15年)		3,000,000円			
* 特定損害特約 (15年)		50,000円			
* 新・災害入院特約 (15年)		5,000円			
* 新・疾病入院特約 (15年)		5,000円			
* 新・成人病入院特約 (15年)		5,000円			
* がん入院特約 (15年)		10,000円			
* リビング・ニーズ特約が付加されています。					
* 配当金は5年ごとに通算して資産運用実績による剰余金が生じた場合、ご契約後6年目から5年ごとにお支払いします。					

浜山宏治さん(夫)の生命保険
この保険の支払い総額は...

約1300万円



浜山家データ

夫・宏治さん33歳、妻・貴子さん36歳、長男・純一君5歳。宏治さんは建築系のサラリーマンで、年収は500万円ほど。貴子さんは専業主婦。4年前にマイホームを購入。

浜山家の保険内容(保険料はすべて月額)

- 夫 生命保険(医療特約付き) 1万4840円
- 妻 生命保険(医療特約付き) 6628円
- 子 生協共済 1100円
- その他 自動車保険 6610円

**保険料総合計
2万9178円**



今のままでは保険料アップ必至! 見直せば約650万円もダウン

まずは上の保険証書を見てほしい。これは、今回の「保険料ダイエット大作戦」に参加してもらった、浜山さんのご主人・宏治さんの生命保険証書。30代、40代のサラリーマンの多くが加入しているという「定期付終身保険」だが、宮越氏によると、大きな問題点が3つあると指摘する。まず一番の問題点は、保険証書③で示される「15年更新」だ。「更新型の保険は、保障内容を下げない限りは更新時期を迎えると、保険料が確実に上がります。宏治さんの保険は定期保険や特約の医療保障がすべて15年更新。このまま継続したら更新時期の42歳、57歳と、保険料は倍々でハネ上がりますね」と宮越氏。さらに、保険料の支払いは65歳で終了(証書②)するものの、その時点で特約の医療保障が消滅してしまうという不安もある。「定期付終身保険の落とし穴で、65